

2022 年度

事業報告書

2022 年 4 月 1 日から
2023 年 3 月 31 日まで

公益社団法人日本麻酔科学会

法人の概要

日本麻酔科学会の大きな使命は、安全で質の高い医療を提供するための事業活動を通して、国民の健康と福祉の増進に寄与することである。本学会はこの使命を達成するため、これまで麻酔科専門医の育成や国民への啓発をはじめとする種々の取り組みを行ってきた。2001年に社団法人に、次いで2011年4月1日に公益社団法人に認定され、本学会の社会貢献の役割が更に明確化されたところである。以下の学会理念をもとに各種事業を行う。

1. 役員 (2023年3月31日現在)

理事長 (代表理事) 山蔭 道明 (理事)

常務理事 内野 博之(理事(副理事長)) 萬 知子(理事(副理事長))
齋藤 繁(理事) 中塚 秀輝(理事) 松本美志也(理事)

理 事 内田篤治郎 岡本 浩嗣 加藤 里絵 坂口 嘉郎
鈴木 孝浩 祖父江和哉 高雄由美子 恒吉 勇男
間宮 敬子 水野圭一郎 溝渕 知司 山内 正憲

監 事 足立 健彦 小澤 章子 白神 豪太郎

代議員 334名 (2023年3月31日現在)

青山 和義	赤塚 正文	赤松 繁	秋吉浩三郎	朝井 裕一	浅野 市子	麻生 知寿
足立 健彦	天谷 文昌	新井多佳子	荒川 穰二	五十嵐あゆ子	五十嵐 孝	生田 義浩
池田 栄浩	池田 健彦	出田眞一郎	井関 雅子	磯野 史朗	市原 靖子	伊藤 伸子
伊東 義忠	稲垣 喜三	稲葉 晋	井上 聡己	井上 莊一郎	猪股 伸一	伊良波 浩
岩崎 達雄	岩瀬 良範	印南 靖志	上田 朝美	上野 博司	上山 博史	内田 寛治
内田篤治郎	内野 博之	内山 昭則	宇野 太啓	梅垣 修	江木 盛時	枝長 充隆
逢坂 佳宗	大内 貴志	大江 克憲	大下 恭子	大田 典之	大瀧 千代	大西 佳彦
大畑めぐみ	岡崎 純子	岡本 浩嗣	岡安 理司	奥 格	奥田 泰久	奥富 俊之
小澤 章子	忍田 純哉	小田 裕	尾前 毅	折井 亮	甲斐 慎一	甲斐 哲也
香川 哲郎	垣花 学	角田 奈美	加瀬 幸子	鹿瀬 陽一	香月 亮	加藤 孝澄
加藤 里絵	加藤 亮子	香取 信之	上林 卓彦	紙谷 義孝	辛島 裕士	狩谷 伸享
川口 昌彦	川越いづみ	河野 崇	川前 金幸	川股 知之	川真田樹人	神田 恵
菊谷 健彦	木倉 睦人	岸川 洋昭	木田 景子	北 貴志	北川 裕利	北口 勝康
北野 敬明	北村 晶	北村 咲子	鬼頭 剛	木下 真弓	金 徹	木村 信行
日下 裕介	櫛方 哲也	葛本 直哉	久米 正記	倉迫 敏明	倉田 二郎	栗山 俊之
小泉有美馨	小坂橋俊哉	河野 昌史	幸村 英文	小嶋亜希子	小杉志都子	小竹 良文
小林 俊哉	小林 佳郎	小松 郷子	小松 孝美	小森万希子	小山 薫	金 正
近藤 一郎	近藤 修	齋藤 繁	斉藤 達志	齋藤 智彦	斉藤 仁志	齊藤 洋司
佐伯 昇	酒井 陽子	坂口 嘉郎	坂本 篤裕	坂本 三樹	鷺島 克之	佐倉 伸一
笹川 智貴	笹野 信子	佐藤 健治	佐藤 哲文	佐藤 智行	佐藤 祐子	佐藤 善一
讃岐美智義	佐和 貞治	澤井 俊幸	澤村 成史	志賀 達哉	重松 研二	重松次郎昌幸
重見 研司	信太 賢治	設楽 敏朗	篠塚 典弘	柴田伊津子	柴田 康之	渋谷 博美
島崎 睦久	清水 淳	下田 栄彦	生野慎二郎	白神豪太郎	白水 和宏	進藤 一男
末廣 浩一	杉田 道子	杉本 祐司	鈴木 健二	鈴木 孝浩	鈴木 健雄	鈴木 武志
鈴木 宏昌	鈴木 康之	須藤 貴史	角倉 弘行	關山 裕詩	祖父江和哉	田家 論
多賀紀一郎	田垣内祐吾	高雄由美子	高岡 誠司	高木 敏行	高澤 知規	高薄 敏史
高田 幸治	高田 基志	高橋 完	高橋 麗子	田北 彰	瀧田 恒一	田口奈津子
武居 哲洋	竹内 護	多田 文彦	多田羅恒雄	田中 克哉	田中 聡	田中 具治
田中 裕之	田中 誠	田中 基	田辺久美子	田辺瀬良美	谷 真規子	谷上 博信
谷口 巧	谷本 宏成	玉井 久義	田村 尚	杖下 隆哉	辻田 美紀	堤 保夫
恒吉 勇男	角田 健	角渕 浩央	坪内 宏樹	寺尾 嘉彰	土井 克史	遠山 悟史

戸田雄一郎	富岡 俊也	富田 行成	外山 裕章	中川 博美	長坂 安子	中島 芳樹
長瀬 清	長田 理	中田 一夫	中塚 逸央	中塚 秀輝	中西 美保	中根 正樹
中平 淳子	中村 信一	中本 あい	中山 英人	中山 禎人	成田 昌広	成松 紀子
名和由布子	西田 修	西部 伸一	西脇 公俊	野村 岳志	野村 実	萩平 哲
橋口さおり	橋口 光子	馬場 洋	濱口 眞輔	濱崎順一郎	原 哲也	原武 義和
東 龍哉	東 美木子	東みどり子	日高 秀邦	尾頭希代子	尾藤 博保	平井 裕康
平川奈緒美	平木 照之	平田 直之	平田 学	廣瀬 宗孝	廣田 和美	深田 祐作
藤井 洋泉	藤野 裕士	藤野 能久	藤村 直幸	藤原 亜紀	淵上 竜也	保利 陽子
堀下 貴文	本多 信雅	牧野 洋	増田 美奈	松浦 正	松川 隆	松永 明
松本 重清	松本 晶平	松本美志也	間宮 敬子	丸山 一男	丸山 晃一	三尾 寧
水野圭一郎	水本 一弘	溝田 敏幸	御園生与志	溝淵 知司	南 敏明	宮田 裕史
村上 衛	村田 寛明	室園美智博	森 隆	森 美也子	森崎 浩	森松 博史
森本 裕二	森山 潔	森山 孝宏	森脇 五六	諸岡 浩明	安田 季道	安田 善一
矢野 武志	山内 浩揮	山内 正憲	山浦 健	山蔭 道明	山口 敬介	山口 重樹
山口 浩史	山下 敦生	山下 幸一	山田 圭輔	山田 高成	山本 拓巳	山本 達郎
山本 博俊	山本 洋子	湯浅 晴之	湯本 正寿	吉田 仁	吉松 貴史	萬 知子
若崎るみ枝	吾妻 俊弘	脇本 将寛	輪嶋善一郎	渡邊 恵介		

2. 事業の概要

本学会は、以下の理念を掲げ事業を行っている。

公益社団法人日本麻酔科学会（以下、本学会という）は、周術期の患者管理を中心としながら、救急医療、集中治療、疼痛管理、緩和医療などの領域において、患者の命を守り、安全で安心できる医療を提供する。

1. 質の高い麻酔科医の育成

質の高い麻酔科医とは、周術期管理、侵襲制御、疼痛管理等において優れた知識と技術、およびコミュニケーション能力を有し、チーム医療を中心的に担える者である。本学会は知識や技術、能力を習得するためソフト面およびハード面を整備し、次世代の日本の医療を十分に担う質の高い麻酔科医を多く育成する。

2. 先進的研究の推進と新たな医療技術の創成

医療において人類の幸福に役立つ新しい知見や技術の創成が重要である。本学会はそのような研究を支援し、得られた発見（知見）や技術、情報を社会に提供する。

3. 麻酔科医療の啓発

国民が安全で安心できる医療を受けるには、国民に対し麻酔科医療に関する正しい知識や認識を提供する必要がある。本学会は広報活動や日常の診療を通じて国民に麻酔科医が担う医療の役割や重要性を啓発し、その認識を普及させる。また、医学生や研修医に対しても麻酔科関連医療の重要性を啓発し、麻酔科専門医の拡充を図る。

4. 他領域との協働

患者中心の安全で質の高い医療を供給するために、本学会は他科の医師や看護師、薬剤師、臨床工学技士などのコメディカルと真のチーム医療として周術期管理チームを組織し、それを実践する基盤を確立する。

5. 国際的な医療連携への貢献

麻酔関連領域における国際的医療水準を高めることは重要である。本学会は世界各国との連携のもとに国際的な医療人の育成や組織作りを推進する。世界麻酔科学会（WFSA）及びアジア・オーストラレーシア地区（AARS）の一員として、とくにアジア地域と人材および知識交流に努める。

3. 事業の区分

理念に基づく事業区分を公益法人申請にあたり、以下の通りとした。

(1) 公益目的事業

公1 麻酔科学の新たな発展のために国内外の先端的研究を奨励・推進・支援し、あわせて国内外の関連学術団体をはじめ関係方面と研究・協力をを行い、もって新しい技術と正しい知識の普及・啓発を図り、その成果を社会に還元する事業（**学術事業・交流事業**）

公2 会員が専門的知識や技術を習得するために、研修及び麻酔科関連業務に関わる医師及び施設の審査・認定を実施し、あわせて麻酔科関連医療に関わる調査および研究の推進を図り、特に麻酔科関連の事故症例の検証により再発防止に努め、もって社会に安全で良質な医療を提供するための事業（**教育事業・安全事業**）

公3 一般市民が安全で安心できる医療を受けるために、医療に関する正しい知識や認識の向上を図り、さらに麻酔科医が担う医療の役割や重要性を啓発し、普及させる事業（**公益事業**）

(2) 収益事業等

収1 医師賠償責任保険の加入仲介事業、所得補償保険の加入仲介事業

収2 展示出展事業

4. 社員総会・理事会報告

第1回 理事会

1. 日 時：2022年4月28日（金）
2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局・WEB
3. 理 事 事：18名 監事：3名
4. 出 席 者：理事18名 監事3名 オブザーバー：13名

第2回 理事会

1. 日 時：2022年8月26日（金）
2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局・WEB
3. 理 事 事：18名 監事：3名
4. 出 席 者：理事17名 監事：3名

第12回 定時社員総会

1. 日 時：2022年6月15日（水）
2. 場 所：神戸ポートピアホテル本館 地下1階 偕楽
3. 社 員 数：336名
4. 理 事 現 在 数：18名
5. 理 事 出 席 者 数：18名
6. その他出席者数：318名（うち委任状52名、議決権行使書54名）

第3回 理事会

1. 日 時：2022年10月5日（木）
2. 場 所：メール審議
3. 理 事 事：18名 監事：3名
4. 出 席 者：理事18名 監事：3名

第4回 理事会

1. 日 時：2022年11月25日（金）
2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局・WEB
3. 理 事 事：18名 監事：3名
4. 出 席 者：理事18名 監事：3名 オブザーバー：1名

第5回 理事会

1. 日 時：2022年3月24日（金）
2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局・WEB
3. 理 事：18名 監事：3名
4. 出 席 者：18名 監事：3名 オブザーバー：6名

第1回 臨時理事会

1. 日 時：2022年12月23日（金）
2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局・WEB
3. 理 事：18名 監事：3名
4. 出 席 者：15名 監事：3名

5. 事業報告

(1) 公益目的事業

事業区分にある公益目的事業公1、公2、公3にある事業を組織運営上、委員会に割り振り運営を行っている。

公1は、学術事業、交流事業であり担当委員会は、以下の通りである。

- ・学術委員会
- ・国際交流委員会
- ・関連領域検討委員会

公2は、教育事業、安全事業であり担当委員会は以下の通りである。

- ・教育委員会
- ・安全委員会
- ・救急心肺蘇生検討委員会

公3は、公益事業であり担当委員会は以下の通りである。

- ・広報委員会
- ・麻酔博物館事業検討委員会

(2) 収益事業

収1は、医師賠償責任保険、所得補償保険の加入仲介事業を実施した。

収2は、学術集会開催時に附設展示会を実施した。

(3) 管理運営部門

管理運営部門として以下の組織を置き、運営を行った。

- ・総務委員会
- ・財務委員会
- ・倫理委員会
- ・事務局

各委員会の委員長は理事とし、統括として常務理事において運営を行った。以下に各委員会の事業報告の概要を記す。

(1) 公益目的事業

<公1：学術・交流事業>

1) 学術委員会（委員長・担当常務理事：中塚常務理事）

【業務内容】

学術委員会は学術事業を担当する。「国内外の先進的研究を奨励・推進・支援し、あわせて国内外の関連学術団体をはじめ関係方面と連携し、新しい技術と正しい知識の普及・啓発を図り、その成果を社会（国民）へ還元する」ことを事業目的とし、中期および短期計画を立案し、その実行にあたる。学術事業戦略は、大きく A. 学術集会運営、B. 機関誌、準機関誌の発行、C. 麻酔科学用語集の編集・発行に分けられる。

【2022 年度報告】

2022 年度は、第 69 回学術集会是ハイブリッド形式で 6 月 16 日～18 日神戸会場開催、6 月 16 日～7 月 13 日 WEB 開催した。第 70 回学術集会及び 2022 年度支部学術集会一般演題要項の見直し、個人情報保護に関する法律改正による演題投稿時の注意事項の整備と周知を行った。学術集会的在り方（開催方式、運営方法、一般演題、専門医講習の取扱い）、2023 年度受賞学会賞募集においては青洲賞の運営主体の廃業に伴う事業主体及び運営の再検討、若手奨励賞応募スケジュール（締切変更）の検討を行った。第 70 回年次学術集会における JA シンポジウム内容決定、一般演題とは別の区分で症例報告を積極採択することで演題数増加を図るテーマ指定演題の募集を行った。機関誌 JA、JACR 発行、ならびに機関誌の編集委託企業の適正を再度確認し、無駄のない運用および費用負担の推移を見守りながら現行の出版社を継続することを決定した。

★ 委員会開催回数 7 回（4 月 13 日、7 月 5 日、7 月 21 日、9 月 21 日、11 月 7 日、1 月 23 日、2 月 17 日）、持ち回り審議回数 15 回

未完了事項：麻酔科学用語集改訂検討

2) 国際交流委員会（委員長：加藤理事・担当常務理事：中塚理事）

【業務内容】

国際交流委員会は「国際的医療連携への貢献」に関連する交流事業戦略の国際交流部門を担当し、その中期および短期計画を立案、実行にあたる。

【2022 年度報告】

- ・第 69 回学術集会にて国際交流委員会企画「COVID-19 流行期における各国の麻酔科における学生教育、研修などの実情」を実施した。委員会紹介パネルを作成し掲示した。
- ・海外への演者派遣の公募を開始した。
- ・ニューズレターに国際交流委員会活動を掲載し、会員向けの広報活動を行った。
- ・AACA2022 における KSA とのジョイントセッションを実施した。セッション内容について日韓講演者間で打合せを実施した。
- ・KSA と 2023 年度以降の国際交流活動について意見交換を行った。
- ・第 71 回学術集会国際交流委員会企画の検討・演者公募を行った。

★委員会開催回数 1 回（11 月）

3) 関連領域検討委員会（委員長：水野理事 担当常務理事：内野理事）

【業務内容】

関連領域検討委員会は、「他領域と協働する医療」に関連する交流事業として、集中治療、救急医療、疼痛治療、緩和医療、心臓血管麻酔、産科麻酔、小児麻酔などの麻酔科関連領域団体・構成員と協議・連携し、麻酔科医が幅広い分野においてその能力を発揮して活躍するための基盤構築にかかる活動を行う。

【2022 年度報告】

2022 年度は、救急救命士の気管挿管実習の現状と今後を考える WG が「救急救命士の気管挿管実習に関するアンケート調査」を実施し、その結果を解析、報告書を作成した。日本母体救命システム普及協議会（J-CIMELS）から本学会に無痛分娩に関連した合併症に対するパニックカードの作成が依頼され、産科麻酔領域検討部会が主体となって協力した。日本麻酔科学会地域トレーニングサイトのコース開催日程を検討した。第 71 回学術集会の委員会企画を検討した。関連学会連絡会議（仮称）の設置、組織構成について検討した。発表単位を認定する関連学会の認定のあり方について教育委員会と合同で検討した。

★ 委員会開催回数 1 回（1 月）持ち回り審議回数 2 回

<公2：教育・安全事業>

1) 教育委員会（委員長・担当常務理事：内野理事）

【業務内容】

教育委員会は教育事業を担当する。学会理念の1項に掲げる「質の高い麻酔科医の育成」のため、認定医・専門医・指導制度および認定病院など教育機関の充実を図る。専門医、指導医および認定施設の認定および更新の審査は明確な基準を設けてこれを行う。高度な知識、判断力、技術を向上、維持するための研修や自己学習の機会を提供する環境を整備する。

また、非会員に向けた教育事業と連携し、多職種への教育普及、認定の実施、関連団体との折衝を実施し、周術期管理チーム医療の確立を目指す。

【2022年度報告】

日本専門医機構専門医制度について機構との折衝、研修プログラムの募集・審査についての検討、専門医試験の作成と実施、機構専門医制度、学会認定制度、学会から機構専門医への移行にあたっての検討、及び検討後の制度の変更、こちらに伴うシステム開発を行い、会員に周知、変更後の制度での運営を実施した。また、教育ガイドラインの改訂作業、年次学術集会での専門医機構認定講習の実施と e-learning での配信、他団体での麻酔科領域講習委託請負実施、症例検討会（マンスリー・関西支部）の実施を行った。

★ 委員会開催回数 12回（4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月）

① 麻酔科認定医 新規審査

2021年12月～2022年3月、2022年4月～7月、8月～11月に認定申請受付が行われ、各申請受付後に書類審査を実施し、認定を行った。

② 麻酔科認定医 更新審査

2022年9月～10月に認定申請受付、11月～2月に書類審査を実施し、更新認定を行った。

③ 麻酔科指導医 新規審査

2022年9月～10月に認定申請受付、11月～2月に書類審査を実施し、認定を行った。

④ 麻酔科専門医 新規審査

2022年5月～6月に認定申請受付、7月～8月に書類審査を行い、10月、11月に試験を行った。

⑤ 機構専門医 更新審査

2022年9月～10月に認定申請受付、11月～2月に書類審査を実施し、日本専門医機構が認定する専門医資格の事前審査を行った。

2) 周術期管理チーム委員会（委員長：松本理事 担当常務理事：齋藤理事）

【業務内容】

周術期管理チーム委員会では他職種団体と協働して手術室の基礎教育レベルの底上げによる医療安全向上、早期離床の実現を目指し、他職種非会員へ教材提供、セミナー開催を通して教育機会を設け、その効果を筆記試験、継続した講習会受講により認定する。

【2022年度報告】

- ・第69回年次学術集会に併催する形で第15回周術期管理チームセミナーを開催、2022年度支部セミナーは支部学術集会の現地開催が中止となったため e-learning コンテンツとして配信
- ・次年度の各種セミナーの検討と決定
- ・筆記試験問題の検証、本年度試験問題の作成
- ・周術期管理チーム看護師新規認定審査、周術期管理チーム薬剤師新規認定審査、周術期管理チーム臨床工学技士新規認定審査、周術期管理チーム看護師更新認定審査、周術期

管理チーム薬剤師更新認定審査，周術期管理チーム臨床工学技士更新認定審査，周術期管理チーム看護師再認定審査，周術期管理チーム薬剤師再認定審査，周術期管理チーム臨床工学技士再認定審査

- ・令和4年度診療報酬改定で認められた「術後疼痛管理チーム加算」に対応した研修の提供開始，研修修了認定審査，追加コンテンツの検討
- ・e-learning システムの改修を検討
- ・各団体との意見交換

★ 委員会開催回数 1回，持ち回り審議回数 3回

① 周術期管理チーム認定資格 新規審査

2022年5月16日～6月30日に認定申請受付，7月～9月に書類審査，11月12日に筆記試験を行い，看護師，薬剤師，臨床工学技士の新規認定を行った。

② 周術期管理チーム認定資格 更新審査

2022年10月3日～11月15日に認定申請受付，11月～12月に書類審査を行い，看護師，薬剤師，臨床工学技士の更新認定を行った。

③ 周術期管理チーム認定資格 再認定審査

2022年10月3日～11月15日に認定申請受付，11月～12月に書類審査を行い，看護師，薬剤師，臨床工学技士の再認定を行った。

3) 安全委員会（委員長：山内理事 担当常務理事：齋藤理事）

【業務内容】

安全委員会は，麻酔および周術期医療に必要なリスクマネジメントに関する事項について検討する安全事業戦略を担当する．安全な麻酔の施行に必要な調査および情報収集を行い，さらに質の高い安全な麻酔のためのガイドライン作成やマニュアルの策定を主導する．安全事業戦略は，大きく4つの部門，統計調査・情報収集部門，麻酔関連機器部門，薬剤および麻酔手技部門，リスクマネジメント部門に分けられる．

【2022年度報告】

今年度におけるガイドラインの作成進捗は以下の通りである．

- ・全身麻酔用医薬品投与制御プログラムの使用指針→作成中
- ・全身麻酔からの覚醒・抜管を安全に行うためのガイドライン→作成中
- ・高齢者の麻酔ガイドライン→作成中
- ・安全な鎮静のためのプラクティカルガイド→英訳版完成
- ・第4版医薬品ガイドラインの改訂→作成中
- ・麻酔器の始業点検 一部改訂完成
- ・麻酔関連業務における特定行為研修修了看護師の安全管理指針→作成中

その他の事業については下記の通りである．

1. 偶発症例（肺塞栓）専門部会，JSA PIMS 周術期情報システム WG 関連
 - ・JSAPIMS のサポートと改良
 - ・肺塞栓調査 2019 年度の集計作業
2. 医薬品適正評価対策専門部会 関連
 - ・レボブピバカイン保険適用申請準備
 - ・アネレム，キシロカインゼリー2% の出荷調整に関する周知
 - ・フィブリノゲン HT 未承認薬・適応外薬に関する要望書の作成
 - ・コロナウィルス（COVID-19）の影響によるロクロニウム製剤，プロポフォールの供給に関する検討
3. ICD 制度協議会運営 WG 関連
 - ・2022 年度開催 ICD（インフェクションコントロールドクター）講習会の申請（承認済み），
4. APSF ニュースレター日本語版作成 WG 関連
 - ・APSF ニュースレター日本語版（2022 年 2 月号，6 月号，10 月号）発刊ならびに Postoperative

Recurarization After Sugammadex Administration Due to the Lack of Appropriate Neuromuscular Monitoring: The Japanese Experience (Tomoki Sasakawa, MD, PhD; Katsuyuki Miyasaka, MD, PhD; Tomohiro Sawa, MD, PhD; Hiroki Iida, MD, PhD) 投稿 (2022年6月号)

5. CCP 専門部会 関連

- ・麻酔科学会会員関連の医事紛争終了事案調査等

6. その他

- ・第71回学術集会の委員会企画の検討

★委員会開催回数 0回 持ち回り審議回数 11回

<公3：公益事業>

1) 広報委員会 (委員長：鈴木理事 担当常務理事：萬理事)

【業務内容】

広報委員会は公益社団法人としての本学会の目的を念頭に置き、本学会の活動を広く社会及び本学会会員に広報する普及啓発事業戦略を担当する。本学会の社会的活動の推進を図ることを目的に中期及び短期計画を立案し、その実行に当たる。活動の対象は一般社会、各種マスコミ、会員、臨床研修医、医学生、及び関係各省庁に分けられる。

【2022年度報告】

第69回学術集会におけるWEB配信用医学生・研修医(初期)向けコンテンツ作成と配信、第70回学術集会ならびに第71回学術集会の医学生招待計画の検討、メディアからの問い合わせ対応や重要ニュースの掲載、ニューズレターの企画・校正・発刊、毎月のメルマガ配信等を行った。

また、麻酔の日のエッセイ募集と審査、ノベルティグッズの配布(適宜)、麻酔のしおり動画化の検討と動画作成、よくある術前合併症解説の学会ホームページ掲載に向けた掲載内容の検討と作成、近畿麻酔科医界(関西支部)の発行、年報(九州支部)の発刊、支部広報誌の廃刊の検討、学会ホームページの見直しを行った。

★委員会開催回数 1回、持ち回り審議回数 4回

2) 麻酔博物館委員会 (委員長：間宮理事 担当常務理事：齋藤理事)

【事業概要】

麻酔に関する資料を収集、収蔵し、麻酔科医ならびに麻酔の歴史を博物館に展示、国民への普及啓発を行う。

【2022年度報告】

麻酔博物館委員会は、以下の活動を行った。

- ・書籍、文書保存、書籍の整理(棚卸し・製本・不要書籍の廃棄処分)・麻酔博物館寄贈品の選定と受入れ
- ・International Symposium on the History of Anesthesia (ISHA) を神戸現地とWEB上ハイブリット開催して、計10ヵ国78名参加者受け入れ、58演題発表された。抄録集、発表演題の論文集作成が行われた
- ・博物館インタビュー実施
- ・博物館和・英パンフレット、小中学生用パンフレット作成
- ・大学コーナー(大学教室沿革管理システム)構築
- ・第70回学術集会中特別展示実施
- ・第71回学術集会委員会企画検討

★委員会開催回数 2回(2022年7月26日、2023年2月10日)

(2) 収益事業

<収1>

医師賠償責任保険と所得補償保険の団体加入契約を、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、三井住友海上保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社と締結し、その仲介事務事業を行った。

<収2>

第69回年次学術集会において、医療機器、医薬品、検査機器、医療情報示説、書籍等を対象として出展を実施、本学会会場で展示小間とWEB広告スペースを提供した。

(3) その他(管理運営部門)

1) 総務委員会(委員長・担当常務理事：齋藤理事)

【業務内容】

学会理念達成のため、麻酔科診療発展・医療貢献事業戦略、社会保険における麻酔科診療の評価の見直しおよび麻酔科医の労働環境の改善・整備に関する事業戦略を担当し、学会組織に係わる事項、すなわち組織運営に関する事項、会則検討に関する事項を担当する。また、教育事業ともなる周術期管理チーム認定制度運営に関し、他団体連携の管理を行いつつ、渉外活動を担当する。あわせて、周術期特定行為研修事業の取りまとめを担当する。

【2022年度報告】

社会保険部会では、年次学術集会における委員会企画(診療報酬フォーラム)の実施と次年度企画の検討、供給停止予定品目の検討、周術期特定行為パッケージ研修の実施(以下、詳細)、会則の改廃確認、令和6年度診療報酬改定に向けた要望項目の整理、申請準備、2023年度名誉会員の推薦受付、審査を行った。また、昨年引き続きCOVID-19の影響を考える門田研究班において、外郭団体の一組織として麻酔科領域における調査を実施し、医師の働き方改革におけるC-2水準に関する模擬審査委員会に参画のうえ、C-2水準審査の審査協力を行った。令和4年度診療報酬改定で認められた術後疼痛加算の研修教材の作成と運営を周術期管理チーム委員会下で進めるよう、対応した。

★ 委員会開催回数1回：(2月)

《特定行為研修管理の業務内容と報告事項》

【業務内容】

高度急性期医療における他職種との協働がスムーズに実践できることを目的とし、「日本麻酔科学会特定行為パッケージ研修」を実施する。正しい知識を持った麻酔科専門医の指示により、十分な研修を受けた看護師が特定行為を実施することを実現するため、本学会が指定研修機関となり、本学会認定病院を協力施設とした体制下で研修(本学会が提示する手順書モデルに沿い、各認定病院施設で複数の特定行為研修)を適切に実施し、自立してケアを行える看護師を育成する。

【2022年度報告】

4月に受講者が研修を開始出来るよう、協力施設の受付、受講者申請の受付を行い、審査を行った。当年度の研修について進捗管理および修了審査を行った。E-learningコンテンツ提供企業と連携し、共通科目、区分別科目の教材提供、提供システムの改善点の検討、運営、指定研修機関としての管理事項の検討を行い、進捗管理として面接含む運営を行った。

2) 財務委員会(委員長・担当常務理事：松本理事)

【業務内容】

学会理念達成のための事業計画遂行には、学会の財務基盤の長期的安定が必須である。財務委員会は適切な事業計画作成を可能とするために、過去の予算案、決算書、財務管理の実績と現状分析、および将来的予測から、正確な資金計画をたてる。学会の円滑な業務執行を可能にするために、健全な財務状況を維持し、地震など災害発生時にも事業継続を可

能とするような計画を立案する。

【2022 年度報告】

2021 年度決算、2022 年度各月月締め決算検討、年次学術集会単体決算について適宜検討、経理承認と必要な確認等を行った。また、役員等への費用支弁に係る検討を行った。

★ 委員会開催回数 11 回（4 月、7 月、8 月、9 月、10 月、11 月、12 月 2 回、1 月、2 月、3 月）、メール持回り審議で検討

3) 倫理委員会（委員長：恒吉理事、担当常務理事：萬理事）

【業務内容】

倫理委員会は、学会理念に基づく事業を遂行する上で問題となる倫理的事項について検討する。学会や会員に関わる倫理的問題が生じた場合、その処分を含む対応について検討する

【2022 年度報告】

「新型コロナウイルス感染症の日本の麻酔診療への影響に関するアンケート調査」「麻酔科専攻医の学位取得に関する意識調査」「医師の働き方改革 アンケート」「令和 6 年診療報酬改定の要望検討・作成に向けた調査」「麻酔管理における特定行為の現状調査に関するアンケート」5 件の倫理審査を実施した。

会議においては、下記の審議を行った。

- ・ 上嶋浩順氏論文調査特別委員会からの追加調査報告書を受けての処分案について。
- ・ 伊東久勝氏が e-learning コンテンツを盗用した件について。
- ・ 全身麻酔薬の使用により痩身効果があると広告した本学会会員に関わるクリニックの調査について。
- ・ 大澤克氏、畑中浩成氏が専門医認定審査書類を偽造した件について。

★委員会開催回数 3 回（4 月、10 月、2023 年 2 月）

4) 事務局（事務局長・担当常務理事：萬理事）

【業務内容】

定款に本学会の事務を処理するために事務局を設置する、と規定されるとともに、事務局長は理事の中から理事会が選任すること、事務長及び所要の職員を置くこと、と規定されている。

【2022 年度報告】

新入会者の審査、2021 年度事業報告、2023 年度事業計画、会員管理システム改修についての検討などを行った。

会員管理システム改修については開発ベンダーとの要件定義の会議において事務局の担当委員および会員管理システム改修 WG、U40 が会員を代表して検討を進めた。その検討では特に会員利用の観点からの要望や確認を行った。開発金額 600,000,000 円程度と設定することで設計開発を 2023 年度実施することとした。

U40 では twitter の運用開始、上記会員管理システム改修事業について検討などを行った。

JSA-PIMS WG が、安全委員会から事務局直下のワーキンググループとなり、改修に向けての検討を行った。2022 年度中の変更であり、PIMS に関する報告事項は安全事業の安全委員会内で記載する。改修に向けての JSA-PIMS のあり方についての検討は 2023 年度も継続して検討を行い、JSA - PIMS とこちらを使用した事業について引き継ぐこととした。

International Conference on Anesthesia Patient Safety (以下、ICAPS) 2024 の開催についての検討（理事会マター、及び理事会下に設置された ICAPS 2024 の準備委員会での検討。実行委員会を設置し、そこでの検討）。開催自体の検討を行い、ICAPS 2024 を開催することが承認された。またプログラムや予算の検討、日本麻酔科医会連合に業務委託を行うことの検討も行われた。ICAPS の日本語名は「安全な麻酔のための国際会議」であり、主な参加対象者は、「安全な麻酔管理体制についての大綱」をまとめることとするため医療従

事者である。

★ 委員会開催数 5回（4月，8月，11月，12月，3月）

5) ハラスメント対策室（担当理事：高雄理事）

【業務内容】

組織の運営を円滑にするためのハラスメント防止策を検討する。

【2022年度報告】

ハラスメントに関する「秘密保持誓約書」について，理事・監事に秘密保持誓約書の提出を実施した。

★委員会開催回数 0回

6) 利益相反委員会（担当理事：恒吉理事）

【業務内容】

利益相反委員会は，学会理念に基づく事業を遂行する上で問題となる利益相反について検討する。学会や会務に関わる会員および，非会員に利益相反が生じた場合，その処分を含む対応について検討する。

【2022年度報告】

新規ガイドラインWGの利益相反調査を実施した。

★委員会開催回数 0回

7) ダイバーシティ推進室（担当理事：高雄理事）

【業務内容】

学会の代議員や委員会委員に女性を増やす等の計画・立案・実施・検証を行う。

【2022年度報告】

2022年度支部学術集会大会長に，座長の女性登用の依頼を実施した。また，各医育機関へ女性・若手候補者を提出いただき，女性・若手登壇・座長候補者リストを作成し，第70回学術委員会一般演題座長選定時に活用の依頼を実施した。次期理事候補者へ次期委員会，部会等に女性メンバー登用の依頼を実施した。

★委員会開催回数 0回

8) その他

【登録・派遣】

日本医師会，日本医学会，厚生労働省医道審議会標榜医審査会，日本専門医機構麻酔科領域研修委員会，日本専門医機構麻酔科領域専門医委員会，外科関連学会協議会，外科系医学会社会保険委員会連合，日本外科系連合学会，日本救急医療財団，日本蘇生協議会，3学会合同呼吸療法士認定委員会，日本歯科麻酔学会，全国MC協議会連絡会世話人会，全国医療安全共同行動，禁煙推進学術ネットワーク，日本医療安全調査機構，肺血栓栓症専門分析部会，中心静脈カテーテルに関する専門分析部会，ICD制度協議会，医療ガス設備等安全確保に係る問題検討委員会，ISO/TC121国内委員会，JIS原案作成委員会委員，人工臓器治療関連学会協議会，臓器移植関連学会協議会，緩和ケア普及啓発事業関連団体協議会，日本母体救命システム普及協議会，無痛分娩関係学会・団体連絡協議会，プログラム開発・改訂委員会，研修企画委員会，インストラクター育成委員会，認定委員会，学術委員会，幹事会，WFSA，AARS等に委員を派遣し，各々の目的と事業に合わせ連携・協力した。

- ・各種学術集会協賛・後援
関連協力団体の学術集会および講習会，市民公開講座等を協賛・後援を行った。

6. 2022 年度委員会委員等一覧

事務局 担当常務理事：萬 知子
 事務局 長：萬 知子
 事務局：磯野 史朗 杉田 道子 田村 岳士 藤野 裕士 水野圭一郎
 森崎 浩
 オブザーバー：上村 裕一 白石 義人 多田 恵一
 神戸事務局
 東京事務所

<ハラスメント対策室>

室 長：高雄由美子
 委 員：濱田 宏
 オブザーバー：顧問弁護士

<ダイバーシティ推進室>

推進室 長：高雄由美子
 副室 長：木下 真弓
 室 員：近江 禎子 大瀧 千代 川股 知之 藤野 裕士 増田 美奈
 森 隆 萬 知子

◆ U40 ワーキンググループ

W G 長：杉田 道子
 副 W G 長：田村 岳士
 オブザーバー：萬 知子 磯野 史朗
 メンバー：出野 智史 宇賀田 圭 打浪 有可 加島 有紀 川久保弥知
 洪 景都 齋藤 秀悠 仙頭 佳起 武田 親宗 野中 崇広
 三浦 大介 森田 知孝 山崎 景子 米倉 寛

◆ JSA-PIMS ワーキンググループ

W G 長：萬 知子
 メンバー：磯野 史朗 内田 寛治 内田篤治郎 岡本 浩嗣 垣花 学
 川久保弥知 川股 知之 蔵谷 紀文 黒岩 政之 洪 景都
 坂口 嘉郎 讃岐美智義 佐和 貞治 澤 智博 鈴木 康之
 武居 哲洋 武田 親宗 中塚 秀輝 増井 健一 水原 敬洋
 森田 知孝 山内 正憲 米倉 寛

◆ 会員管理システム改修ワーキンググループ

W G 長：萬 知子
 メンバー：磯野 史朗 讃岐美智義 澤 智博 田村 岳士

<選挙管理委員会>

委 員 長：上村 裕一
 委 員 員：白石 義人

<常置委員会>

総務委員会 担当常務理事：齋藤 繁
 委 員 長：齋藤 繁
 副委員 長：藤野 裕士 溝渕 知司
 委 員 員：小森万希子 竹内 護 西脇 公俊 廣瀬 宗孝

<社会保険部会>

部会長：藤野 裕士
部会員：天谷 文昌 岩瀬 良範 桑内 亜紀 鈴木 康之
塚田さよみ 寺嶋 克幸 宮津 光範 山本 俊介

<会則検討部会>

部会長：西脇 公俊
部会員：佐和 貞治 鎮西美栄子 前原 康宏 松本美志也

財務委員会

担当常務理事：松本美志也
委員長：松本美志也
副委員長：山田 高成
委員：小板橋俊哉 長瀬 清
オブザーバー：多田羅恒雄

倫理委員会

担当常務理事：萬 知子
委員長：恒吉 勇男
副委員長：祖父江和哉
委員：井関 雅子 北野 敬明 萬家 俊博
オブザーバー：重見 研司

学術委員会

担当常務理事：中塚 秀輝
委員長：中塚 秀輝
副委員長：内田篤治郎 岡本 浩嗣
委員：井上莊一郎 内田 寛治 小田 裕 川真田樹人 河野 達郎
重見 研司 武田 吉正

[第69回学術集会実行委員会]

委員長：齋藤 繁
副委員長：藤野 裕士
委員：磯野 史朗 井上莊一郎 内野 博之 大瀧 千代 香川 哲郎
小竹 良文 高澤 知規 谷口 巧 中島 芳樹 中塚 秀輝
萬家 俊博

◆ 循環 WG

WG 長：中島 芳樹
メンバー：辛島 裕士 竹内 護 田中 克哉 堤 保夫

◆ 呼吸 WG

WG 長：磯野 史朗
メンバー：内田 寛治 川越いづみ 北村 祐司 鈴木 昭広 中山 禎人

◆ 神経 WG

WG 長：内野 博之
メンバー：紙谷 義孝 榎方 哲也 合谷木 徹 田辺久美子 森 隆

◆ 小児・産科 WG

小児 WG 長：香川 哲郎
産科 WG 長：大瀧 千代
メンバー：五十嵐あゆ子 小原崇一郎 角倉 弘行 中畑 克俊

◆ ペイン緩和・局所麻酔 WG

WG 長：井上莊一郎
メンバー：柴田 康之 須藤 貴史 新山 幸俊 間宮 敬子 山内 正憲

◆ 救急・ICU WG

WG 長：谷口 巧
メンバー：江木 盛時 川前 金幸 鈴木 武志 中根 正樹 升田 好樹

◆ 麻酔科関連-1 WG

WG 長：小竹 良文

- ◆ メンバー：石川 真士 小原 伸樹 高木 俊一 増井 健一 山浦 健
 麻醉科関連-2WG
 WG 長：萬家 俊博
 ◆ メンバー：小田 裕 高澤 知規 恒吉 勇男 長谷川麻衣子 堀田 訓久
 麻醉全般WG
 WG 長：中塚 秀輝
 ◆ メンバー：坂口 嘉郎 佐和 貞治 鈴木 健二 高橋 伸二 長瀬 清
 水原 敬洋

[第70回学術集会実行委員会]

委員長：藤野 裕士

副委員長：松本美志也

委員：内田 寛治 江木 盛時 大瀧 千代 蔵谷 紀文 坂口 嘉郎
 田中 克哉 恒吉 勇男 森 隆 山内 正憲 山浦 健

◆ 循環WG

WG 長：田中 克哉
 ◆ メンバー：入嵩西 毅 加藤 純悟 辛島 裕士 小嶋亜希子 下川 亮
 横塚 基

◆ 呼吸WG

WG 長：内田 寛治
 ◆ メンバー：北村 祐司 倉橋 清泰 高木 俊介 中山 禎人 馬場 靖子
 吉田 健史

◆ 神経WG

WG 長：森 隆
 ◆ メンバー：紙谷 義孝 榎方 哲也 合谷木 徹 田辺久美子 荻野 祐一

◆ 小児・産科WG

小児WG 長：蔵谷 紀文
 産科WG 長：大瀧 千代
 ◆ メンバー：安藤 一雄 小原崇一郎 角倉 弘行 田辺瀬良美 名和由布子

◆ ペイン緩和・局所麻酔WG

WG 長：山内 正憲
 ◆ メンバー：柴田 康之 須藤 貴史 佐藤 仁昭 新山 幸俊 間宮 敬子

◆ 救急・ICUWG

WG 長：江木 盛時
 ◆ メンバー：内山 昭則 大藤 純 鈴木 武志 徳平 夏子 中根 正樹
 升田 好樹

◆ 麻醉科関連-1WG

WG 長：山浦 健
 ◆ メンバー：石川 真士 大田 典之 小原 伸樹 高橋 完 堤 保夫

◆ 麻醉科関連-2WG

WG 長：恒吉 勇男
 ◆ メンバー：小田 裕 北野 敬明 高澤 知規 長谷川麻衣子 堀田 訓久

◆ 麻醉全般WG

WG 長：坂口 嘉郎
 ◆ メンバー：大槻 明広 佐和 貞治 鈴木 健二 高橋 伸二 谷 真規子
 長瀬 清 原 哲也

[学術研究審査委員会]

委員長：磯野 史朗

委員：浅井 隆 垣花 泰之 川股 知之 榎方 哲也 藤野 裕士
 増井 健一 松本美志也

[麻醉科学用語専門部会]

部会長：岡本 浩嗣

部会員：江木 盛時 小竹 良文 志馬 伸朗 角倉 弘行 遠山 悟史

増井 健一 益田 律子

[機関誌専門部会]

部 会 長：内田篤治郎

部 会 員：天谷 文昌 磯野 史朗 市瀬 史 岡本 浩嗣 小田 裕
垣花 学 川口 昌彦 照井 克生 橋本 悟 山浦 健

[Journal of Anesthesia Editorial Board]

Editor-in-Chief：天谷 文昌

Associate Editor-in-Chief：浅井 隆

Section Editor：青山 和由 (Pediatric Anesthesia)

浅井 隆 (Airway)

内田 寛治 (Respiratory Medicine)

江木 盛時 (ICU & Emergency Medicine)

小田 裕 (Clinical Reports)

小原 伸樹 (Clinical Monitoring)

河野 崇 (Clinical Pharmacology)

櫛方 哲也 (Neuroscience)

末廣 浩一 (Perioperative Assessment and Management)

高澤 知規 (Social Problem, Education, and Economics)

田中 聡 (Pain Medicine)

平田 直之 (Cardiovascular Medicine)

堀田 訓久 (Regional Anesthesia)

増井 健一 (Statistics)

松田 祐典 (Obstetric Anesthesia)

Editorial Board：角倉 弘行

廣田 和美

山蔭 道明

[JA Clinical Reports Editorial Board]

Editor-in-Chief：小田 裕

Section Editor：青山 和由 浅井 隆 天谷 文昌 磯野 史朗 井上莊一郎

内田 寛治 江木 盛時 小原 伸樹 垣花 学 川口 昌彦

河野 崇 櫛方 哲也 齋藤 繁 末廣 浩一 角倉 弘行

高澤 知規 照井 克生 橋本 悟 平田 直之 廣田 和美

堀田 訓久 増井 健一 松田 祐典 山蔭 道明

[「麻酔」編集会議]

委 員：磯野 史朗 小竹 良文

[International Conference on Anesthesia Patient Safety 2024]

大 会 長：萬 知子

委 員 長：長坂 安子

副 委 員 長：江木 盛時

財務担当委員：森田 潔 山田 高成

運営担当委員：内田 寛治 茶木 友浩 中澤 春政

プログラム担当委員：青山 和由 衛藤 由佳 小原 伸樹 加藤 里絵 小板橋俊哉

澤 智博 仙頭 佳起 祖父江和哉 谷 真規子 宮坂 清之

山内 正憲 吉川 裕介

アドバイザー：飯田 宏樹 武田 純三

国際交流委員会

担当常務理事：中塚 秀輝

委 員 長：加藤 里絵

副 委 員 長：江木 盛時

委 員：岩崎 肇 川越いづみ 白水 和宏 仙頭 佳起 中根 正樹

関連領域検討委員会 担当常務理事：内野 博之

委員長：水野圭一郎
副委員長：高雄由美子
委員：大瀧 千代 大西 佳彦 谷口 巧 谷口 由枝 西田 修
山口 重樹

<領域検討部会>

[集中治療]

部会長：西田 修
部会員：内山 昭則 垣花 泰之 黒田 泰弘 志馬 伸朗 升田 好樹

[ペイン]

部会長：高雄由美子
部会員：井関 雅子 上野 博司 濱口 眞輔 平川奈緒美 渡邊 恵介

[緩和]

部会長：山口 重樹
部会員：天谷 文昌 佐藤 哲観 橋口さおり 間宮 敬子

[救急]

部会長：谷口 巧
部会員：黒田 泰弘 志馬 伸朗 成松 英智
外部委員：木村 昭夫 坂本 哲也

[心臓血管麻酔]

部会長：大西 佳彦
部会員：岡本 浩嗣 川口 昌彦 野村 実

[産科麻酔]

部会長：大瀧 千代
部会員：上山 博史 狩谷 伸享 杉田 道子 角倉 弘行 照井 克生
中島 芳樹

[小児麻酔]

部会長：谷口 由枝
部会員：香川 哲郎 川人 伸次 鈴木 康之

◆ ECC 講習会支部担当責任者 WG

WG 長：高橋 伸二（東京・関東甲信越）
メンバー：今泉 均（北海道） 伊関 憲（東北） 山崎 潤二（東海北陸）
羽場 政法（関西） 堤 保夫（中国四国） 田代 尊久（九州）
オブザーバー：田勢長一郎 多田 恵一

◆ 救急救命士の気管挿管実習の現状と今後を考えるワーキンググループ

WG 長：川前 金幸
メンバー：鈴木 昭広 原 哲也 水本 一弘

教育委員会 担当常務理事：内野 博之

委員長：内野 博之
副委員長：川股 知之 坂口 嘉郎
委員：倉橋 清泰 佐和 貞治 鈴木 康之 長田 理 原 哲也
森崎 浩
オブザーバー：恒吉 勇男 中塚 秀輝

◆ 専門医研修プログラム検討 WG

WG 長：山口 重樹
メンバー：小出 康弘 長田 理 水本 一弘 溝渕 知司

◆ サイトビジット研修プログラム評価制度 WG

WG 長：川口 昌彦
メンバー：坂口 嘉郎 間宮 敬子 水本 一弘
オブザーバー：佐和 貞治

◆ CBT WG

WG 長：佐和 貞治
メンバー：江木 盛時 恒吉 勇男 寺嶋 克幸
オブザーバー：坂口 嘉郎

[専門医試験あり方検討部会]

部会長：内野 博之
部会員：川口 昌彦, 川股 知之, 倉橋 清泰, 坂口 嘉郎, 佐和 貞治
山口 重樹

[認定審査委員会]

委員長：内野 博之
副委員長：倉橋 清泰 鈴木 康之 原 哲也 森崎 浩
オブザーバー：中塚 秀輝

[第1部会 (専門医認定)]

部会長：原 哲也
部会員：川股 知之 倉橋 清泰 恒吉 勇男 藤野 裕士
オブザーバー：中塚 秀輝

<筆記試験>

問題作成責任者：田中 克哉
メンバー：秋吉浩三郎 田中 聡 長坂 安子 新山 幸俊 池田 健彦
白水 和宏 原 哲也 内田 寛治 石田 裕介 鈴木 武志
鈴木 昭広 堤 保夫
オブザーバー：川股 知之

<口頭試験>

問題作成責任者：倉橋 清泰
メンバー：牧 盾 北野 敬明 武田 吉正 小山 薫 森 隆
橋 一也 合谷木 徹 安田 篤史 紙谷 義孝 大瀧 千代
藤井 啓介 神田 浩嗣 恵川 淳二 柿沼 孝泰

[第2部会 (指導医認定)]

部会長：森崎 浩
部会員：櫛方 哲也 小出 康弘 多田羅恒雄

[第3部会 (認定医, 認定施設認定)]

部会長：鈴木 康之
部会員：香取 信之 原 哲也 山浦 健 萬家 俊博

[第4部会 (研修プログラム認定)]

部会長：倉橋 清泰
部会員：加藤 里絵 鈴木 健二 長田 理 橋口さおり 溝渕 知司
オブザーバー：小森万希子 中塚 秀輝

安全委員会

担当常務理事：齋藤 繁
委員長：山内 正憲
副委員長：田中 克哉 山浦 健
委員：奥田 泰久 垣花 学 田口奈津子 武居 哲洋 廣田 和美
藤村 直幸

[偶発症例 (肺塞栓) 専門部会]

部会長：垣花 学
部会員：北 貴志 黒岩 政之 佐藤 哲文 武田 親宗 藤村 直幸

増井 健一

[医薬品適正評価対策専門部会]

部会長：山浦 健
部会員：岩崎 達雄 杉野 繁一 田口奈津子 西脇 公俊 平木 照之

[CCP 専門部会]

部会長：奥田 泰久
部会員：吾妻 俊弘 關山 裕詩 田中 克哉 山口 重樹

[麻酔機器・麻酔手技安全対策専門部会]

部会長：山内 正憲
部会員：佐和 貞治 谷口 巧 山田 高成

[JSAPIMS 周術期情報システム WG]

部会長：澤 智博
部会員：岡本 浩嗣 川股 知之 蔵谷 紀文 讃岐美智義 佐和 貞治
武居 哲洋 水原 敬洋 増井 健一

◆ 医薬品ガイドライン改訂 WG

WG 長：山浦 健
メンバー：垣花 泰之 加藤 里絵 川股 知之 合谷木 徹 坂口 嘉郎
白水 和宏 鈴木 孝浩 田中 克哉 戸田雄一郎 中島 芳樹
原 哲也 山口 重樹

◆ ICD 制度協議会運営 WG

WG 長：稲垣 喜三
メンバー：田口奈津子 森本 裕二
オブザーバー：白石 義人

◆ アナフィラキシーへの対応ガイドライン WG

WG 長：高澤 知規
メンバー：杉野 繁一 原 哲也 光畑 裕正 山浦 健 萬 知子

◆ 鎮静 WG

WG 長：原 哲也
メンバー：伊藤 健二 河野 崇 阪井 裕一 田中 克哉
外部委員：渋谷 鉦 辻野佳世子 宮内 靖史

◆ MEP モニタリングガイドライン作成 WG

WG 長：川口 昌彦
メンバー：和泉 俊輔 垣花 学 田中 聡 林 浩伸
福岡 尚和 吉谷 健司
オブザーバー：飯田 宏樹

◆ 術中の心肺蘇生ガイドライン作成 WG

WG 長：高橋 伸二
メンバー：加藤 里絵 小山 薫 篠塚 典弘 祖父江和哉 高澤 知規
田中 克哉 矢野 隆郎

◆ APSF ニュースレター日本語版作成 WG

WG 長：祖父江和哉
メンバー：川越いづみ 酒井 陽子 澤 智博 仙頭 佳起
田辺久美子 藤本 陽平 安田 篤史
オブザーバー：飯田 宏樹

◆ 周術期禁煙推進ワーキンググループ

WG 長：飯田 宏樹
メンバー：甲斐 哲也 久利 通興 田辺久美子 中川 雅史 山下 千鶴
米倉 寛

◆ 周術期禁煙ガイドライン改訂 WG

WG 長：飯田 宏樹

- メンバー：甲斐 哲也 久利 通興 田辺久美子 中川 雅史 山下 千鶴
米倉 寛
- 外部委員：飯田 真美 福田 幾夫
- ◆ 全身麻酔からの覚醒・抜管を安全に行うためのガイドライン作成 WG
WG 長：磯野 史朗
メンバー：小竹 良文 鈴木 康之 加藤 里絵
- ◆ 産科麻酔・無痛分娩に関する検討 WG
WG 長：奥田 泰久
メンバー：岩崎 達雄 大瀧 千代 谷口 巧 照井 克生 藤村 直幸
- ◆ 高齢者の麻酔ガイドライン作成 WG
WG 長：川股 知之
メンバー：恵川 淳二 河野 崇 立花 俊祐 新山 幸俊 藤井 啓介
オブザーバー：川口 昌彦
- ◆ 特定行為に関する安全性の検討 WG
WG 長：藤村 直幸
メンバー：北川 裕利 中村 京太 横山 健 萬 知子
- ◆ 小口径コネクターの影響検討 WG
WG 長：齋藤 淳一
メンバー：小嶋 大樹 海法 悠 野口 智子
- ◆ 全身麻酔用医薬品投与制御プログラムの使用指針作成 WG
WG 長：讃岐美智義
メンバー：小原 伸樹 木山 秀哉 柴田 康之 中西 美保 藤村 直幸
外部委員：鎮西 清行

広報委員会

- 担当常務理事：萬 知子
委員 長：鈴木 孝浩
副委員 長：澤村 成史 鈴木 昭広
委員 員：笹川 智貴 讃岐美智義 高木 俊一 中澤 春政 森 隆

麻酔博物館委員会

- 担当常務理事：齋藤 繁
委員 長：間宮 敬子
委員 員：上山 博史 近江 禎子 小山 薫 伊吹 京秀 高澤 知規
武田 純三 奥富 俊之 水本 一弘
オブザーバー：松木 明知 齋藤 繁

〔麻酔博物館 館員ボード〕

- 館 長：齋藤 繁
館 員：伊吹 京秀 奥富 俊之 金子 武彦 武田 純三 土手 健太郎
牧野 洋 松木 明知 間宮 敬子

〔ISHA 開催専門部会〕

- 部 会 長：齋藤 繁
委 員 員：伊吹 京秀 奥富 俊之 片桐美和子 金子 武彦 菅井 直介
高澤 知規 武田 純三 土手健太郎 中田 善規 牧野 洋
松木 明知 間宮 敬子

<特別委員会>

【周術期管理チーム委員会】

- 委 員 長：松本美志也
副委員 長：川口 昌彦
委 員 員：内田 寛治 川股 知之 坂口 嘉郎 鈴木 孝浩 廣瀬 宗孝
山内 正憲

オブザーバー：齋藤 繁
日本手術看護学会：木村 三香 山本 千恵 横溝 宗子
日本病院薬剤師会：柴田ゆうか 舟越 亮寛
日本臨床工学技士会：荒木 康幸 北本 憲永 小西 康司
日本口腔外科学会：栗田 浩 関谷 秀樹

〔周術期管理チーム認定審査委員会〕

委員長：松本美志也
副委員長：内野 博之 恒吉 勇男
委員：井上 聡己 大槻 明広
オブザーバー：齋藤 繁
日本手術看護学会：木村 三香 横田富美子
日本臨床工学技士会：北本 憲永 高橋 秀暢

◆ 周術期管理チーム試験問題作成 WG

WG 長：川股 知之
メンバー：飯田 良司 石田 高志 石田 裕介 岡田 雅子 上村 友二
神谷 岳史 北村 咲子 酒井 陽子 柴崎 雅志 杉山 大介
鈴木 昭広 瀬戸口秀一 高田 真二 谷奥 匡 遠山 悟史
平田 直之 松浦 正 箕島 梨恵 安田 篤史 矢田部智昭
日本手術看護学会：野瀬 珠美 松沼 早苗
日本臨床工学技士会：青木 宏介 荒木 康幸

◆ 周術期管理チームテキスト作成 WG

WG 長：鈴木 孝浩
メンバー：河野 達郎 佐藤 暢一 恒吉 勇男 道宗 明 中澤 春政
日本手術看護学会：山口 円
日本病院薬剤師会：柴田ゆうか
日本臨床工学技士会：高橋 秀暢

◆ 周術期管理チームセミナーWG

WG 長：坂口 嘉郎
メンバー：小原 伸樹 鎌田ことえ 鈴木 聡 関 博志
Sumner Robert 田村 岳士 内藤 祐介
長坂 安子 長瀬 清 原 将人
術後疼痛管理研修作業部門
部門長：齋藤 繁
部門員：川股 知之 坂口 嘉郎

【特定行為研修管理委員会】

委員長：廣瀬 宗孝
責任者：川口 昌彦
委員：大瀧 千代 川真田樹人 後藤 隆久 小森万希子 齋藤 繁
佐藤 暢一 田中 聡 内藤 祐介 長坂 安子 藤野 裕士
藤原 祥裕
日本手術看護学会：ミルズしげ子
外部委員：鈴木敬一郎 山口 円

【特定行為研修審査委員会】

委員長：廣瀬 宗孝
委員：大瀧 千代 小森万希子 齋藤 繁 佐藤 暢一 田中 聡
内藤 祐介 長坂 安子 原 哲也
外部委員：山口 円

【利益相反委員会】

委員長：恒吉 勇男
委員：北川 裕利 小森万希子 森本 裕二

オブザーバー：顧問弁護士

【支部委員会】

委員：山内 正憲 岡本 浩嗣 内田篤治郎 祖父江和哉 溝渕 知司
松本美志也 坂口 嘉郎

【支部運営委員会】

(北海道・東北支部)

支部長：山内 正憲
総務委員：黒澤 伸
学術委員：川前 金幸 鈴木 健二 森本 裕二
教育委員：片山 勝之 神田 浩嗣 神田 恵 廣田 和美 山蔭 道明
広報委員：枝長 充隆 斉藤 仁志 下田 栄彦 外山 裕章 新山 幸俊

(東京支部)

支部長：内田篤治郎
総務委員：加藤 里絵 小森万希子 萬 知子
学術委員：井関 雅子 小竹 良文 鈴木 孝浩 森崎 浩
教育委員：上園 晶一 内田 寛治 内野 博之 澤 智博
広報委員：近江 禎子 澤村 成史 長坂 安子

(関東・甲信越支部)

支部長：岡本 浩嗣
総務委員：川真田樹人 木下 真弓 後藤 隆久
学術委員：磯野 史朗 井上莊一郎 奥田 泰久 馬場 洋
教育委員：北村 晶 小板橋俊哉 齋藤 繁 竹内 護
広報委員：北村 享之 小山 薫 山口 重樹

(東海・北陸支部)

支部長：祖父江和哉
総務委員：中島 芳樹 西脇 公俊 山本 洋子
学術委員：高橋 完 藤田 義人
教育委員：賀来 隆治 鈴木 照 西田 修
広報委員：重見 研司 高橋 麗子 谷口 巧

(関西支部)

支部長：溝渕 知司
学術委員：佐和 貞治 藤野 裕士
教育委員：川股 知之
広報委員：北川 裕利
委員：上山 博史 江木 盛時 大西 佳彦 上林 卓彦 川口 昌彦
中嶋 康文 廣瀬 宗孝 南 敏明 美馬 裕之 森 隆

(中国・四国支部)

支部長：松本美志也
総務委員：齊藤 洋司
学術委員：河野 崇 堤 保夫 中塚 秀輝
教育委員：大槻 明広 田中 克哉 中條 浩介
広報委員：岩崎 達雄 萬家 俊博
委員：奥 格 鷹取 誠 多田 文彦 田中 裕之

(九州支部)

支部長：坂口 嘉郎
総務委員：恒吉 勇男 平木 照之 平田 直之
学術委員：垣花 学 原 哲也 山浦 健

教育委員：秋吉浩三郎 北野 敬明 堀下 貴文 松永 明
広報委員：辛島 裕士 杉田 道子 平川奈緒美 水野圭一郎

5. 2022年度関連諸団体委員等一覧

【日本医師会】

疑義解釈委員会：齋藤 繁

【日本医学会】

評議員：山蔭 道明

連絡委員：萬 知子

医学用語連絡委員：岡本 浩嗣

代 委 員：小竹 良文

利益相反委員：萬 知子

「日本医学会創立 120 周年記念事業」連絡担当：小森万希子

第 31 回日本医学会総会学術委員会 U40 メンバー：廣瀬 佳代

第 31 回日本医学会総会における登録推進委員：鈴木 孝浩（2023 年 4 月 23 日まで）

【厚生労働省医道審議会標榜医審査会】

部長代理：西脇 公俊

委 員：溝渕 知司 廣田 和美 小森万希子 中塚 秀輝

上村 裕一（2022 年 6 月 24 日まで） 坂口 嘉郎（2022 年 6 月 24 日から）

木下 真弓 近江 禎子

【日本専門医機構麻酔科領域専門医委員会】

委 員：坂口 嘉郎

【日本専門医機構麻酔科領域研修委員会】

委 員：坂口 嘉郎

【外科関連学会協議会】

委 員：落合 亮一 齋藤 繁 森崎 浩

懇 談 会：佐藤 哲文 鈴木 宏昌 竹内 護

【外科系医学会社会保険委員会連合】

処 置 委 員 会 委 員：寺嶋 克幸

処置委員会（処置コーディング WG）：澤 智博

検 査 委 員 会 委 員：久利 通興

検査委員会（生体検査 医療材料 WG）：久利 通興

手 術 委 員 会 委 員：横田 美幸 天谷 文昌

実 務 委 員 会 委 員：横田 美幸

手術委員会（コーディング WG）：澤 智博

手術委員会（医療材料・医療機器 WG）：岩瀬 良範

麻 酔 委 員 会 委 員 長：山田 芳嗣

麻 酔 委 員 会 副 委 員 長：横田 美幸

麻 酔 委 員 会 委 員：森崎 浩 岩瀬 良範

麻酔委員会（全身麻酔 WG）：横田 美幸 森崎 浩 岩瀬 良範

麻酔委員会（麻酔深鎮静 WG）：横田 美幸 森崎 浩

総 務 委 員 会 委 員：山田 芳嗣

区域麻酔ワーキンググループ：天谷 文昌

神経ブロックワーキンググループ：天谷 文昌

【日本外科系連合学会】

総務委員：鈴木 宏昌

【日本救急医療財団】

心肺蘇生法委員会委員：多田 恵一
非医療従事者によるAED使用のあり方特別委員会委員：多田 恵一

【日本蘇生協議会】

理事：小澤 章子
監事：多田 恵一

【3学会合同呼吸療法士認定委員会】

派遣委員：内田 寛治 川前 金幸 中澤 弘一 山田 芳嗣

【日本歯科麻酔学会】

監事：小坂橋俊哉

【全国MC協議会連絡会世話人会】

世話人：多田 恵一

【医療安全全国共同行動】

委員：垣花 学

【禁煙推進学術ネットワーク】

委員：飯田 宏樹

【日本医療安全調査機構】

委員：山内 正憲
北海道・東北ブロック：山内 正憲
関東ブロック：岡本 浩嗣
東京ブロック：内田篤治郎
東海北陸ブロック：祖父江和哉
近畿ブロック：溝渕 知司
中国四国ブロック：松本美志也
九州ブロック：坂口 嘉郎

【ICD制度協議会】

委員：白石 義人

【医療ガス設備等安全確保に係る問題検討委員会】

委員：白石 義人

【ISO/TC121 国内委員会】

委員：山内 正憲 長坂 安子 山本 俊介

【JIS原案作成委員会委員】

委員：森松 博史

【人工臓器治療関連学会協議会】

委員：藤野 裕士

【臓器移植関連学会協議会】

委員：森松 博史

【緩和ケア普及啓発事業関連団体協議会】

委員：齊藤 洋司

【日本母体救命システム普及協議会】

理事：大瀧 千代 奥田 泰久 山内 正憲

【無痛分娩関係学会・団体連絡協議会】

委員：奥田 泰久 水野圭一郎 山内 正憲

有害事象分科会：奥富 俊之，山内 正憲

研修体制分科会：大瀧 千代，奥田 泰久，角倉 弘行

情報公開分科会：川真田 樹人，水野 圭一郎

【一般社団法人 臨床試験医師養成協議会】

理事：山蔭 道明

【World Federation of Societies of Anesthesiologists (WFSA)】

○Council

Executive Committee：齋藤 繁

Obstetric Anaesthesia Committee：角倉 弘行

Paediatric Anaesthesia Committee：蔵谷 紀文

Publication Committee：山蔭 道明

Pain Management Committee：天谷 文昌

Diversity, Equity, and Inclusion Committee：田辺 瀬良美

【Asian and Australasian Regional Section (AARS)】

Treasurer：山蔭 道明

【厚生労働省 歯科医師の医科麻酔科研修に関する検討会】

委員：内野 博之

委員：萬 知子

オブザーバー：山蔭 道明

以上

9. 事 業 監 查 報 告 書

監査報告書

公益社団法人 日本麻酔科学会
理事長 山蔭 道明 殿

2023年 4月 28日

公益社団法人 日本麻酔科学会

監事 足立健亮



私は、2022年4月1日から2023年3月31日までの2022年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以下の方法に基づき、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類等(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

監査意見書

監事 足立健彦

2023年度業務遂行に向けて、以下の点について検討・改善を求めます。

日本麻酔科学会として、国際学会を開催する
為の手順をある程度定めおくことを勧め
ます。

監査報告書

公益社団法人 日本麻酔科学会
理事長 山蔭 道明 殿

2023年 4月 28日

公益社団法人 日本麻酔科学会

監事 小澤 章子



私は、2022年4月1日から2023年3月31日までの2022年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以下の方法に基づき、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類等(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

監 査 意 見 書

監事 小澤 章子

2023 年度業務遂行に向けて、以下の点について検討・改善を求めます。

将来の国際学会(joint meeting を含む)開催に向けて、
開催規程作成と検討していただきたい。

(現在進行中の案件は、理事会承認を得ている。)

監査報告書

公益社団法人 日本麻酔科学会
理事長 山蔭 道明 殿

2023年 4月 28日

公益社団法人 日本麻酔科学会

監事 白神 豪一郎 

私は、2022年4月1日から2023年3月31日までの2022年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以下の方法に基づき、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類等(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

監査意見書

監事 白神 豪太郎

2023年度業務遂行に向けて、以下の点について検討・改善を求めます。

2022年度事業については、おおむね適正に行われていると思います。

年度内で予定されている事業以外の新規事業を行おうとする場合には、社員および学会員に十分に納得可能とできるように説明を尽くすことを望みます。